

第3回磐田市特別職報酬等審議会 議事録

日時：令和6年7月4日（木） 10時30分～11時30分

場所：西庁舎3階特別会議室

出席者：委員10名、事務局5名

- 1 あいさつ
- 2 配付資料説明
- 3 審議、意見交換

発言者	内容
委員	資料1から資料4、参考資料も含めて何かご意見ご質問があれば伺いたい。
委員	議員の概算活動日数について、個人活動の部分は把握していないのか。
事務局	個人活動の部分については把握していない。
委員	今回新聞記事が参考資料として配布されているが、もう少し色々な情報をしっかり集めることが必要だと思う。事務局の説明では中小企業の話が出ているが、実質的に今年は色々な企業が好景気になっている状況もあり、そういうのも含めて実際は考えないといけないと思うので、もう少し色々な情報をしっかり集めることも必要だと思う。また、中小企業の定義は色々あり、どこを中小と捉えるか、色々な見方があると思うので、一概に中小企業という総論で判断していいのか、という気がする。そういう意味でもう少し色々な情報は必要だと思う。
委員	先日、他自治体で議員の所得一覧が公表されていたが、なかなか厳しい声が挙がっていた。結局今まで皆さんが議論して慎重なご意見にならざるを得なかったのは、そういうところにあるのかなと感じた。やはり国民感情、国民目線というのは非常に厳しく見られていると感じた。それでは、事務局から提示した答申案について、審議していきたいと思う。
委員	答申案を見たが、最終的にはこの案で良いと思う。ただ、附帯意見で、将来的な引上げを見据えて、来年度以降検討すると記載されているので、

	<p>例えば近隣の浜松市等の大規模企業を従業員 300 人以上と定義するとしたら、300 人以上の企業を例えば 5 社、それから中規模の企業 100 人から 300 人の企業を 5 社、50 人以下の企業を 5 社というように、20 社程度の何年間かの賃上げ率を見て、その上で、一般的な賃上げ率が平均何%であるかを基に、議員報酬を再度検討していければと思う。</p> <p>ただ、答申にどこまで具体的に載せるかはまた別問題なので、最終案はこれで良いと思う。また、市長、副市長、教育長の特別職の給料についても、今後、物価や賃上げによって他自治体が改正することも十分考えられるので、そこも含みとして入れておいた方が良いと思う。</p>
委員	<p>私も答申案はこの内容で良いと思う。第 1 回、第 2 回と色々議論してきた中で、やはり若手の議員の成り手が不足しているのは、磐田市全体としても大きな問題かなと思っている。議員報酬ばかりではなく、総体的なところの中で若手の議員をこれからどのようにつくっていくかというのは、大きな課題と捉えた。直接的にこの報酬とは関係しないが、そこは市としての大きな課題ということで、整理ができるといいかなと感じる。全体的な引上げ等については、また今後の状況を見ていけば良いと思っている。</p>
委員	<p>先ほど意見があったが、議員に加え、市長、副市長、教育長についてもやはり引き続き検討していくと文言で加えたらと思う。</p> <p>また、審議の経過と要旨の文中に、昨今の賃上げは一部の大企業に限られてとなっているが、一部の企業にと変更したらどうか。</p>
委員	<p>答申案だが、内容的な問題はないと思う。ただ、答申としての見せ方について、最初に市長、副市長、教育長の特別職の給料は据え置くと記載し、次の審議の経過と要旨の中で、議員報酬の内容が含まれると、読む側からしたら、違和感があると思う。要するに、最初に審議結果として、市長、副市長、教育長、議員全てを据え置くと記載して、その次に経過を記載する形式にする。審議結果がまずあって、全部据え置くとして、でも審議の経過の中で色々な議論があって、こういうこともありましたので最終的には附帯意見を付けるという流れの方が良いと思う。</p> <p>感想になるが、雇用契約で職員になる人と、選挙で選ばれた人を同じ土俵で議論しているので、そもそもそこは難しさを感じる。やはり選挙で選ばれる市長や議員は定年があるわけでもなく、選挙で落選してしまえばそれでもう終わりなので、職員や副市長、教育長と比べるのは難しさ</p>

委員	<p>があると思う。</p> <p>また、答申案の中で、議員定数という文言がないが、審議会の中で議論もされたので、しっかり議論したよということで、議員報酬は据え置けれども議員定数の議論も出たことを記載したらと思う。</p> <p>答申案についてはよくできていて、論理的に納得できると思う。特別職の給料に関しては適当であるということ、若手の議員さんをつくるため、議員になるための魅力に関して収入は大きな理由になるということで、色々な意見が出たが、据置きで今後も引き続き検討するということが良いと思う。</p> <p>実際議員と話をする機会があったが、子育て中の1番パワーのある、磐田市議会を動かしていただくだけの力のある若い人たちは、やはりお金がかかるので、兼業でないと議員をやれないとのことで、落ちついて議員活動ができる年代というのが50代後半から60代で、磐田市議会もその年齢の方の割合が多いということがあると思う。</p> <p>若手議員のなり手を考えると、収入は大事であるし、何か議員活動を応援できるような予算や議員の活動、勉強、研修に行く機会を増やしてほしいと思う。</p>
委員	<p>答申案の内容については納得できるが、表記の仕方として、特別職と議員とで項目をきちんとした方が良いと感じた。また、議員の報酬については平均を下回らないとしても、やはり若手を育てるということが今の時代は本当に大事だと思う。地域づくりの中で、中学生ぐらいから子育て中の人たちを話し合いに入れていくことで、思ってもいないような意見が出たり、経験のある方と若い方が意見を交わすことで、新しい何か生まれてくるのを実感している。市を動かす議員は、そういう力を持って前向きに取り組んでくださる方を選びたいと思うと、報酬は大きな要素ではないかと思う。若い人たちにとっては十分とは言えない報酬ではないかなと思う。ただ、この金額で十分やっっていけるというような意見を言う人もいたので、一概には言えないかなとも思う。</p>
委員	<p>答申案については、これだけでは伝わらない部分があるので、参考資料として今までの議事録等を添付した方がより分かりやすくなると思う。</p> <p>また、若手の議員の成り手について、議員には定年がないので、高齢の方が出たりする現状がある。今後、この審議会が常設となった場合には、議員にも定年を設ける等、何か違う角度から見て若手の成り手を増</p>

委員	<p>やす方法もあるのではないかと思います。</p> <p>本審議会は報酬が適正であるかどうかを審議する場であり、先ほど言われた議員定数については別の場で議論されると思うが、議員報酬を検討する上で議員定数というのは絡むと思うので、答申にはそういう議論が必要と一言入れてほしいと思う。</p> <p>また、若手の議員を増やすべきなのかは、また別の場で話をさせていただければいいと思う。</p> <p>本日の生活費の資料はあくまで参考として見た方が良くと思う。やはり議員だけで生活していくとなると報酬は上げて良いと思う。</p>
委員	<p>議員報酬は引き上げるべきだと思う。来年度以降引き続き検討するとの附帯意見があるが、議員や市長の報酬等を上げるタイミングは限られると思う。来年度選挙があり、その前でないと上げるタイミングは非常に難しい。来年度以降検討するとしても、実際4年後になる。4年後の経済情勢がどうなのかは分からない。今の経済情勢は何十年に1度の好景気だと思うので、今上げるタイミングは非常にいい時期だと思う。当然市民感情はあるが、100%市民が賛成だというのは絶対あり得ない。市民感情を重要視するのは分かるが、それだけで決めるというのは少し違う気がする。事務局で、年齢別の平均給与の資料を出してもらったが、少し基準が違うと思う。当然市政なので、人口規模が非常に重要であり、人口規模によって市政の取組は変わると思う。約17万人の磐田市として、資料1にあるように、富士宮市や藤枝市より年収が低くていいかと言えばそれは違うのではないかと思いますし、民間と比べるのは少し違うと思う。そういう中においてまずは議員報酬を上げていいと思う。また、若い議員がほとんどいない年齢構成というのも問題じゃないかと思う。若者が市政にどれだけ参加してもらうかは大きな課題であり、どういうやり方をするかは、この議論とはまた別のものであるかもしれないが、これだけ若い年代の議員の割合が低かったら、それは課題として捉えなくてはいけないし、その1番の理由はやはり生活できるものを与えないと若者や女性が市政に参画してくるのは難しい状況にあると思う。今の議員活動が、良いとは私は思っていない。もっと充実してほしい、もっと良い市にするために活動してほしい。そのためにはお金を出すことは必要なことだと思う。</p> <p>市民感情も含めて考えた際、今上げなくて上げる時はあるのかと思う。</p>

事務局	議員の年代別割合の資料1で、三島市や掛川市は、磐田市より低い議員報酬ではあるが、若手議員の割合が多い状況もあり、議員報酬が高ければ若い議員が増えるとは一概には言えない現状ではある。
委員（会長）	<p>皆さんから意見をいただいて、今回諮問を受けて、市長の意向に沿った市民目線という立場での答申案としてまとめていくということになると、皆さんが言うように、この答申案の内容でいければと思う。その中で答申案の見せ方を整理し、最後の附帯意見の中で皆さんの貴重な意見を入れていくのが妥当かと思う。一方で議員報酬を引き上げるべきだという意見もあり、人材確保の中に報酬も一つあると思うが、議会そのものの魅力、どの程度若い人たちが魅力を感じて市政に参加してくれるか、そういったものをやはり把握してからでないと、報酬を上げてても若手が入ってこない可能性もあると思う。</p> <p>議会側の方にも少し前向きに4年後の議員選挙に向けてそういった動きを出してもらえるように、今回の附帯意見の方に少し具体性なものを踏み込んで入れていく答申にできればと感じた。</p> <p>答申の内容については、これから附帯意見も含めて、事務局の方で整理していただければと思う。</p>
委員	私は引き上げでよいと思っているが、皆さんどうか？最終的な確認をしないと答申案がこれでよいのかは分からない。
委員	実際に答申で報酬を上げるとして、それを実現するにはとても時間がかかるという話があった、来年の選挙には間に合わないぐらいだったと思う。
委員	審議会で報酬を上げる答申をしても、最終的に報酬を上げる条例案を議会に議案として出すかどうかは市長の判断となる。ただ報酬を上げるといって、市長が自分の判断で上げないとした時、議会からも質問がでるだろうし、審議会で上げる答申をしたのに、なぜ市長はやめるのか、その理由はというのは当然問われる話である。答申があつて、後は市長がどう判断するかであるので、時間がかかるということはない。
委員	選挙とかは関係ないと考えてよいか。
委員	あくまでも、我々としては現状を冷静に判断した中で市長に答申すべき

	<p>だと思ふ。諮問の時に、市民目線で検討をお願いしたいと、市民目線ということをして市長がおっしゃったので、そういったこと踏まえると、答申としては、市長、副市長、教育長、議員の報酬は現行のままが妥当であるが、今後引き続き検討していくとし、附帯意見として皆さんからでた具体的な意見を付していくのはどうか。今回の答申で本審議会は終了になるが、附帯意見として引き継がれる。附帯意見がないと次に検討していく時に見えないものが出てくるので、我々の意見としてまとめていくことが必要かと思ふ。</p>
委員	<p>「上げるべき」との意見も本当に理解できるが、ここの場での議論の中では、皆さん「現行で妥当」、附帯意見の中で、こういう意見もあったと申し添えるということが総意かと受け止める。あとは見せ方の問題のところ、ポイントをよく整理した上で市長に提出すればどうか。</p>
委員	<p>審議会としては、そういう形でまとめをして、答申案を作成し直すこととしたい。原案ができたならまた確認をお願いしたい。</p>
事務局	<p>審議どうもありがとうございました。今後の答申書の表現、見せ方の部分、文言の修正については、会長、副会長と事務局に一任いただくということによろしいか。</p> <p>(各委員 同意)</p> <p>委員の皆さんには市長へ提出する前に送付させていただくので確認をお願いしたい。</p> <p>市長への答申書の提出については、この審議会を代表し、会長と副会長のお二人にご出席いただきたいがよろしいか。</p> <p>(各委員 同意)</p> <p>それでは、答申書は会長、副会長から市長へ提出していただくこととする。日程は今後の調整となるが8月中に提出できればと考えている。</p>